SHIBUYA AREA MANAGEMENT ACTIVITY REPORT 2013-2020

渋谷駅前エリアマネジメント活動レポート 2013-2020

遊び心で、渋谷を動かせ。

発行：渋谷駅前エリアマネジメント　問い合わせ：info@shibuyaplusfun.com
発行 2020年10月

COPYRIGHT© 渋谷駅前エリアマネジメント協議会／一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメント

なぜ、変える？
どう、変える？
渋谷。

もしもエリアマネジメントがなかったら…？

渋谷に感じる不便や不安を見過ごしたら、みんなに愛されるまちになれないから。

私たち渋谷駅前エリアマネジメントは、たくさんの人々と力を合わせて、その解消に取り組んできました。

しかし、まだまだ十分ではありません。

渋谷が大好きな若者にも、いまはちょっと渋谷が苦手な子連れの人にも、渋谷で働いている人にも、学ぶ人にも、

外国の人にも、ご高齢の人にも、車椅子ご利用の人にも、そして、もちろん、地元に長く住む人たちにも。

渋谷の入口である駅前エリアを、誰もが訪れたくなるワクワクドキドキへの入口に変えていきます。

案内サインがバラバラで
わかりにくい！

ごみや落書きが多くて
治安が悪そう・・・

空いてる駐車場が
見つからない！

自分のアート作品、
見てもらえる場所ないかなぁ

工事が多くて、来るたびに
動線が変わってる

急に地震が来たらどうしよう

INDEX

P2	イントロダクション	P8	SHIBUYA +FUN PROJECT
P4	VISION	P10	これまでの活動【まちづくりのルールづくり・調整】
P5	活動エリア	P13	これまでの活動【まちづくりの実行】
P6	活動内容	P16	HISTORY　活動年表
P7	サステナブルな仕組み	P18	MESSAGE to SHIBUYA！

VISION

渋谷が世界一だと思う人をふやす。

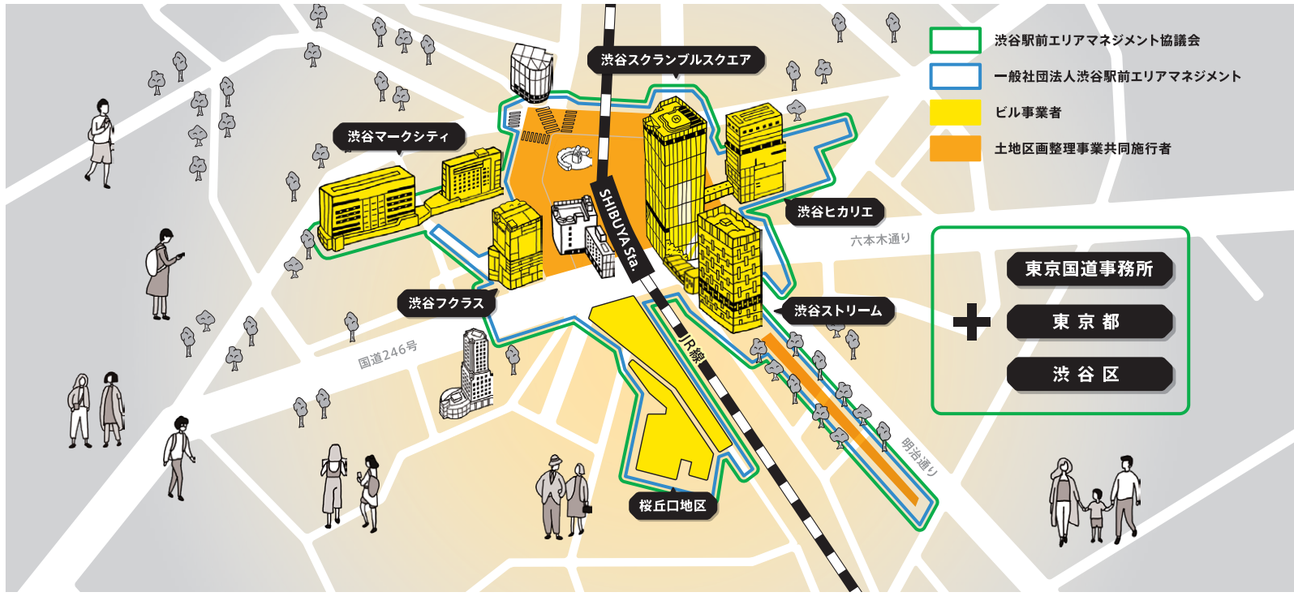
渋谷を愛してくれている人に、これからも愛してもらえるように。
渋谷に縁がない人も、渋谷を好きになってもらえるように。
渋谷は、年齢や職業などによらず、好奇心や創造性をもった
より多くの人が集まるまちでありたいと思います。
訪れる人、暮らす人、商売を営む人。一人ひとりにとって、
ここが世界一だと思ってもらえる渋谷を目指して、駅前は進化していきます。



活動エリア

渋谷の玄関口を
どこまでおもしろくできるか。

渋谷駅前エリアマネジメントは、2つの団体が力を合わせて、渋谷駅前の街区とそれに接続する公共空間で、
まちをもっと楽しく、安全・安心に過ごせるようにしていくための取り組みを行っています。





渋谷マークシティ

京王井の頭線に直結し、利便性の高いショッピングモール・ホテル・オフィスからなる複合施設

開　業　2000年4月

事業主体
東京地下鉄(株)、東急(株)、京王電鉄(株)



渋谷ヒカリエ

国内最大級の劇場、イベントホールやクリエイティブスペースなど渋谷を代表する情報発信拠点を備えた複合施設

開　業　2012年4月

事業主体
渋谷新文化街区プロジェクト推進協議会



渋谷ストリーム

旧東横線渋谷駅の記憶を残す、クリエイティブワーカーのためのオフィス、ホテル、商業からなる複合施設

開　業　2018年9月

事業主体
渋谷駅南街区プロジェクト事業推進者
[東急(株)、地権者]



渋谷スクランブルスクエア

渋谷最高峰の展望施設、オフィス、共創施設、商業を備えた渋谷の新ランドマークとなる複合施設

開　業
第Ⅰ期（東棟）2019年11月
第Ⅱ期（中央棟・西棟）2027年度(予定)

事業主体
東急(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)



渋谷フクラス

空港リムジンバスの発着場や観光支援施設を備えた渋谷の新たな玄関口となる複合施設

竣　工　2019年11月

事業主体
道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発組合
[参加組合員:東急不動産(株)]

渋谷駅桜丘口地区

住・働・遊を兼ね備えた国際都市「渋谷」を代表する複合施設



竣工予定
2023年度

事業主体
渋谷駅桜丘口地区市街地再開発組合
[参加組合員:東急不動産(株)]

活動内容

もっと使いやすく、
もっと盛り上がる渋谷へ。

ビル事業者、土地区画整理事業共同施行者からなる社団法人と、国、東京都や渋谷区との調整の場である協議会で力を合わせ、このまちをより快適で安全・安心な場所にするための取り組みを、12の活動領域で行っています。

快適さと魅力を高める12の活動内容

もっとまちを使いやすく

1. 屋外広告物地域ルール
2. デザイン・基盤調整
3. 駐車場運用
4. 施設の管理
5. 防災・防犯
6. AEMS・環境対策

渋谷駅前エリアマネジメント協議会

設　立	まちづくりに関するルールづくり 官民の調整担当
2013年5月30日	

構成メンバー

【正会員】●渋谷駅街区エリアマネジメント協議会(東急株式会社／東日本旅客鉄道株式会社／東京地下鉄株式会社／渋谷スクランブルスクエア株式会社)●渋谷ストリーム管理組合●渋谷フクラス管理組合●渋谷駅桜丘口地区市街地再開発組合(参加組合員:東急不動産株式会社)●渋谷ヒカリエ管理組合

【準会員】●渋谷マークシティ

【特別会員】
●渋谷駅街区土地区画整理事業共同施行者(東急株式会社／独立行政法人都市再生機構)

【行政会員】●国土交通省東京国道事務所●東京都建設局道路管理部路政課●東京都第二建設事務所●渋谷区土木部●渋谷区都市整備部

もっとまちを盛り上げる

7. 街区共同イベント
8. 広場の利用
9. 工事中の魅力付け
10. 情報発信
11. 観 光
12. 事業計画策定

一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメント

設　立	協議会で設定したルールに基づいて まちづくり活動を実行
2015年8月18日	

構成メンバー

【社 員】
●渋谷駅街区エリアマネジメント協議会(東急株式会社／東日本旅客鉄道株式会社／東京地下鉄株式会社／渋谷スクランブルスクエア株式会社)
●渋谷ストリーム管理組合●渋谷フクラス管理組合
●渋谷駅桜丘口地区市街地再開発組合●渋谷ヒカリエ管理組合
●渋谷駅街区土地区画整理事業共同施行者(東急株式会社／独立行政法人都市再生機構)

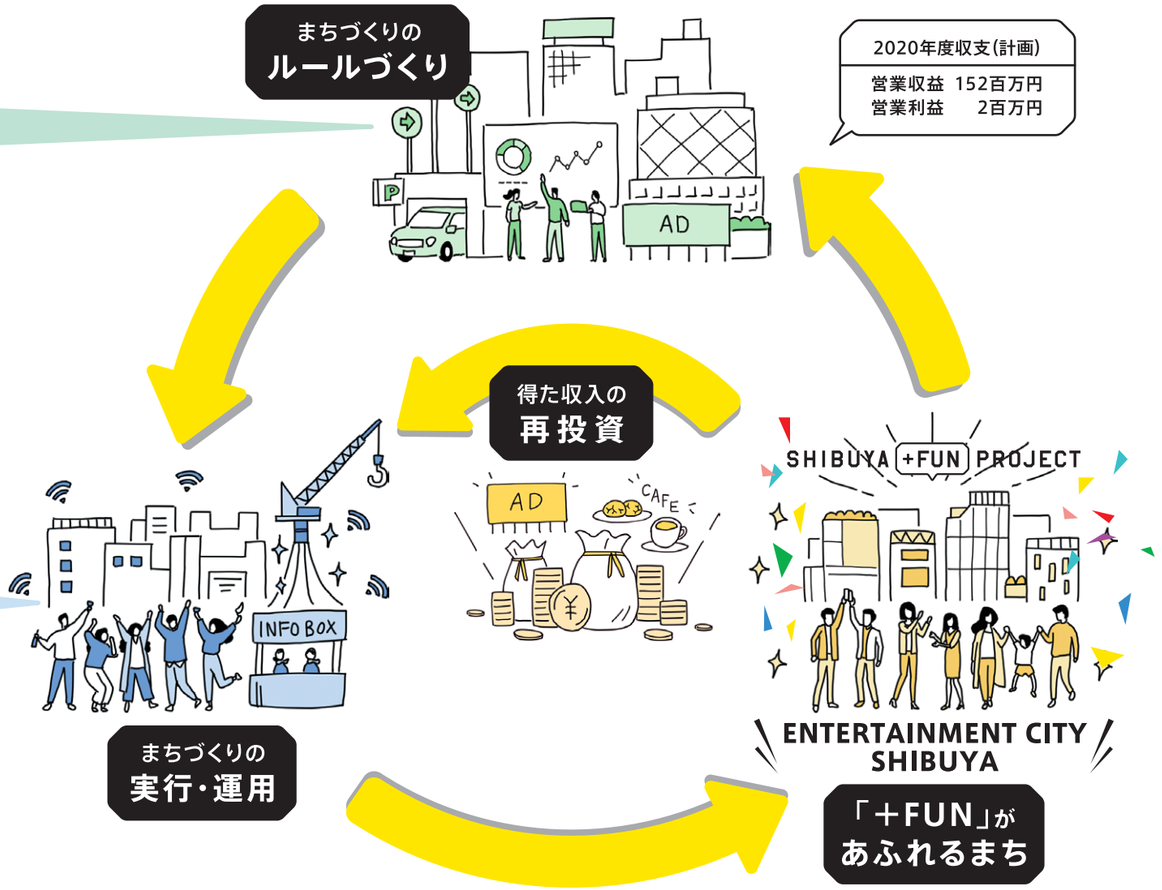
【事務局】
●東急株式会社●東急不動産株式会社●独立行政法人都市再生機構

サステナブルな仕組み

みんなでつくる、
サステナブルなまちづくり。

道路や広場などの公共空間を、広告掲出や賑わい施設の運用といった用途に活用するためのルールづくりを行い、それらを実行し運用することで自主財源を確保しています。
得た収益によって、さらにまちを盛り上げたり、使いやすくしていきます。
まちが賑わうことで増えた収益を、またまちに還元していく。
サステナブルな仕組みで、渋谷をもっと＋FUNなまちにしていきます。

渋谷駅前エリアマネジメントの“サステナブルな仕組み”



遊び心で、渋谷を動かせ。

これから先、変化し続ける渋谷駅前。私たちは、この変化をチャンスだと考えます。

渋谷の入り口で象徴でもある駅前エリアの、渋谷らしさを尊重しながら、

新しい魅力をつくっていく。このまちに関わる好奇心や独創性とつながりながら、

渋谷の変化を魅力に変えていきます。

+FUN
SHIBUYA PROJECT

SHIBUYA +FUN PROJECT シブヤ プラスファン プロジェクト

自由でクリエイティビティな動きを生み出し続けてきたまち、渋谷。

ここに集う人々と力を合わせ、もっとたくさんの遊び心をプラスし、

さまざまなアクションで一緒にまちを盛り上げていき、使いやすくしていくこと。

それが、「SHIBUYA +FUN PROJECT」です。

渋谷の顔にふさわしい、世界を驚かせる景色をつくる。

1 屋外広告物地域ルール

実現が難しかった広場・道路での広告掲出を可能に！

これまでの渋谷らしさから、かつてない渋谷らしさへ。

谷の中心にある渋谷駅。これまでの渋谷の景観を活かしながら、新しい渋谷駅中心地区の景観づくりに取り組んでいます。エリアで屋外広告物ルールを策定し、収益をまちに還元することを条件に、今までには実現が難しかった広場や道路での広告掲出、高層ビルの壁面への超大型サイネージの設置などが可能になりました。



広告媒体に関する詳細は
こちらをご確認ください

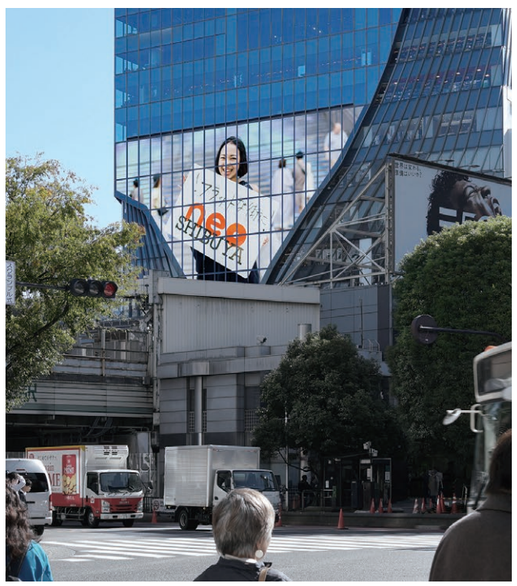




渋谷憲章シート



渋谷駅ハチ公広場観光案内所「SHIBU HACHI BOX」



渋谷スクランブルスクエアビジョン



渋谷駅東口地下広場



西口地上広場：道玄坂仮設デッキ・道玄坂連絡デッキ

誰もが歩きやすいまちで あらゆる人を歓迎したい。

2 デザイン・基盤調整

バラバラでわかりにくかったサインの基準を統一！

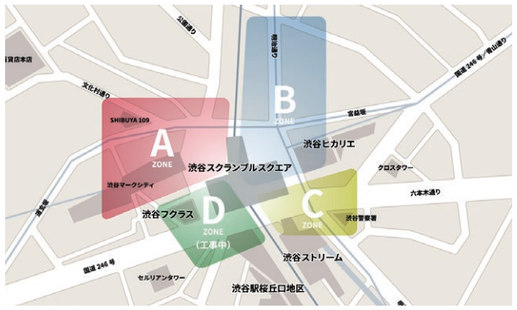
初めてでも、自分のまちのように歩ける案内誘導を。

渋谷駅周辺では、鉄道やビルがそれぞれ独自の案内誘導サインを整備していたため、来街者にとって親切な案内表示とは言えませんでした。渋谷区とともに、渋谷駅中心地区のまちづくりを担っている事業者をひとつにまとめ、サインガイドラインを策定。ガイドラインに基づき、初めて訪れる人にも分かりやすい案内誘導づくりに取り組んでいます。
渋谷駅前サインは渋谷区公共サインとともに、2020年日本サインデザイン賞にて、経済産業大臣賞を受賞しました。



ハチ公広場　西口広場　稲荷橋広場

ターミナルと街の結節点となる「結節広場」のシンボルマークを決める公募を実施。
導入する広場：ハチ公広場、西口広場、稲荷橋広場



渋谷駅地下出入口番号の変更
地下をA～Dの4エリアに分け、各出入口の数字を組み合わせて表記。



案内誘導サイン
９施設導入済み。(2020年8月時点)整備範囲拡大中。

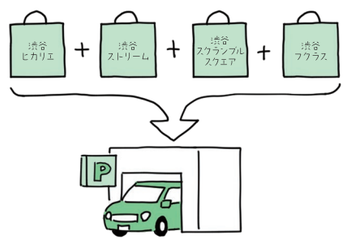
3 駐車場運用

駅中心地区の車を減らし、歩きやすいまちに！

つくるのは、人とクルマの幸せな関係。

自動車が駅中心を行き交うことで、歩行者が歩きづらくなっていた渋谷駅前。そこで、各街区の事業者が協力し、駅中心地区への車両流入を軽減するために入庫ルートを整備しました。また、各施設でのお買い上げ金額を合算し、その合算金額に応じた駐車場サービスがご利用可能です。





渋谷がもっと好きになる、キレイで安心なまちづくり。

4 施設の管理

考えています、持続可能な公共空間の在り方を！

官民が二人三脚で進める、未来を見据えた社会実験。

再開発により、渋谷の駅前には新しい公共空間が次々と誕生していきます。いつまでも愛される、安心で居心地のいい空間になるように、東京国道事務所、東京都、渋谷区と協働して渋谷駅周辺の道路の清掃サービスレベルの向上方法について検討し、すでに数カ所で清掃を実施しています。

実験の代表例

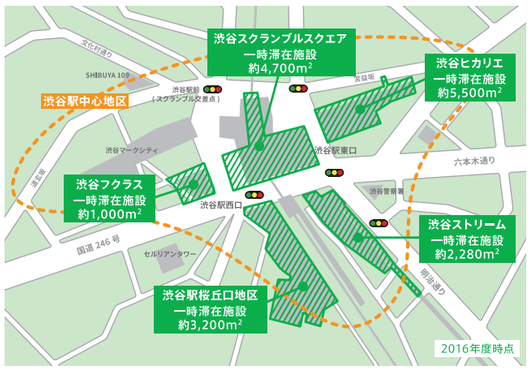
2017年度　渋谷駅周辺のごみや汚れの実態調査
2018年度　渋谷駅東口地下広場を念頭に、渋谷駅東口地下歩道で清掃実験
2019年度　将来の清掃コスト削減を目的とした清掃ロボット実験

2027年に向けて東口広場、西口地下歩道等今後供用開始になる公共空間も含めたエリア全体の維持管理方法を引き続き検討しています。



5 防災・防犯

情報連携体制・帰宅困難者受け入れルールを統一！



帰宅困難者受け入れの空間

「もしも」の場合に備えた、安心の体制とルールづくり。

工事期間中から防災対応について、東京都、渋谷区、工事関係者や施設管理者で、有事の際の情報連携体制・ルールを策定。また、渋谷ヒカリエ、渋谷ストリーム、渋谷スクランブルスクエア、渋谷フクラスを含めた渋谷駅前エリアマネジメント協議会における帰宅困難者受け入れルールや備蓄倉庫運用、情報発信ルールを作成しています。

2016年に、工事期間中の連絡体制について、①渋谷スクランブルスクエア第Ⅰ期（東棟）②渋谷ストリーム ③渋谷フクラス ④桜丘口（着工後）ごとに、事業者・工事関係者・渋谷区（・東京都）を登録したメーリングリストを作成し、緊急時の対応を速やかにできるようになりました。

5つの街区が連携し、備蓄品整備方針、帰宅困難者受け入れ空間の誘導案内ルールを検討し、施設計画に反映させると共に、渋谷区及び渋谷駅周辺帰宅困難者協議会等と調整を図り、渋谷区が策定した都市再生安全確保計画に組み込みました。

6 AEMS・環境対策

まち全体でエネルギー効率を高め、環境負荷を軽減！

谷を冷やす。地球にやさしい環境をつくる。

谷に位置する渋谷駅前は熱だまりが起こりやすい上、大規模開発に伴う環境負荷の増大が課題でした。そこで、エネルギー効率の向上を目指し、各街区が連携してAEMS（エリアエネルギーマネジメントシステム）の実運用に向けた調整を推進しています。



現在、渋谷ヒカリエ、渋谷ストリーム、渋谷スクランブルスクエア、渋谷フクラスのエネルギー使用量のデータをまとめ、データ共有フォーマットを作成中。本格運用を目指して全力で取り組んでいます。

たくさんの個性を集めて、新たなまちの魅力を発信。

7 街区共同イベント

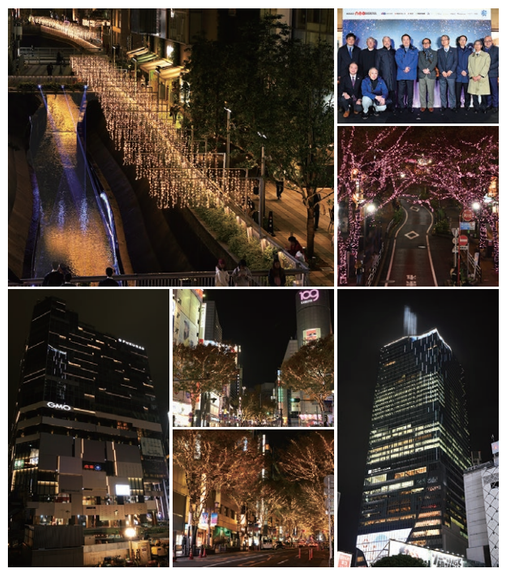
渋谷駅前エリアマネジメントがハブとなり、オール渋谷で取り組む！

みんなが創り、みんなが参加し、みんなで盛り上げる。

各街区の特徴を活かしながら、渋谷の魅力を向上させ、新たな渋谷を世界に発信し続けるために、商店街、行政、事業者、大学、来街者など、渋谷に関わるみんなで、まち全体を盛り上げていきます。



渋谷カウントダウン　渋谷を訪れる人が安全・安心に新年を迎えるための取り組みとして、「YOU MAKE SHIBUYA COUNTDOWN」を2016年より開始。



渋谷ウィンターイルミネーション　渋谷駅周辺の商店街や商業施設等が各々主体となり、様々な演出を行う中で、2019年は、みんなで連携し、ハチ公広場で点灯セレモニーを実施。渋谷の各所で一斉にイルミネーションが輝きはじめました。

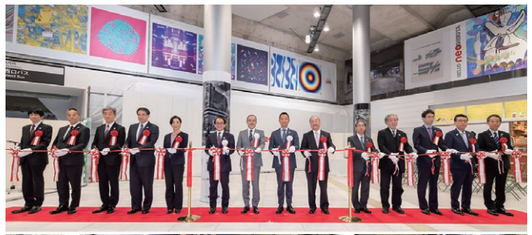


まちびらきプロモーション　渋谷駅周辺の開発でまちが変化していく節目に、まちが一体となって盛り上げる取り組みを実施。駅前だけではなく、まちに染み出すイベントで、巡り歩いて楽しい渋谷を目指しています。

広場を増やすことは、まちにワクワクを増やすこと。

8 広場の利用

制度を活用し、地下空間に賑わいを生み出す！





東口地下広場

駅とまちを楽しさでつなぐ、新しい地下空間。

渋谷駅周辺には、人が集い、憩える空間が不足していました。そこで2019年、渋谷駅東口地下広場が誕生。渋谷川が頭上に流れる巨大な地下空間は、ただの広場ではなく、都市再生推進法人の制度を活用し、観光案内もできるカフェや広告を設置することで、まちに賑わいを生み出します。また、行政の協力を得て、パウダールーム付きの渋谷区立渋谷駅東口公衆便所や、都バス定期券発券所とバス案内所も備えました。この広場で得た収益はまちづくり活動と広場の維持管理に充てられます。



工事現場にエンタテイメントを。

9 工事中の魅力付け

仮囲いをキャンバスに、それぞれの個性を表現！

完成する前から親しみ、楽しめる場所に。

渋谷駅前再開発事業で、長い期間工事が続く渋谷。工事中の渋谷を明るく、楽しいイメージに変化させていくため、工事事業者や大学などと連携し、仮囲いを使って渋谷の魅力を発信する様々なプロジェクトを仕掛けています。



クレーンイルミネーション　渋谷駅周辺の解体工事現場のクレーンに、約3万球のLEDを使用した高さ約20mのイルミネーションを設置。(2014年12月-2015年3月)



東京都立大学と連携した仮囲い活用　2016年から、東京都立大学の学生と菊竹教授と連携。2019年は、桜丘口地区の3箇所を舞台に、再開発地域に根差したデザインプロジェクトを実施。



しぶにしデッキ壁面アート掲出
工事中の仮設通路の壁面を活用し、一般財団法人渋谷区観光協会とともにアート空間を展開。日常におけるアートとの接点・クリエイターの発信の場としてまちの賑わいと楽しみを提供します。

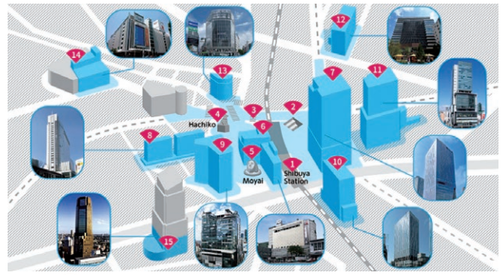
めぐり歩くだけで素敵な発見に出会えるまちへ。

10 情報発信
11 観　光

ひと味違う情報発信を！

もっとワイワイしたくなるWi-Fi。

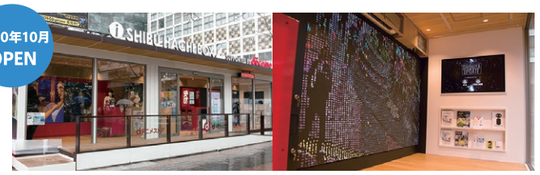
渋谷を訪れた人の利便性を高め、楽しく回遊できるように、渋谷駅（東横線、副都心線、田園都市線,半蔵門線）や商業施設など、まちの様々な場所で使えるフリーWi-Fi「SHIBUYA Wi-Wi-Fi」を提供しています。大規模災害時には登録不要でつなぐことが可能です。



フリーWi-fi「SHIBUYA Wi-Wi-Fi」※2020年9月時点

渋谷のワクワクが詰まった複合型発信拠点。

2020年10月 OPEN



渋谷駅ハチ公広場観光案内所「SHIBU HACHI BOX」
渋谷駅ハチ公広場の「青カエル」跡地に、新たな観光情報発信拠点を設置。
Shibuya info βox、SHIBUYA FUTURE VISONでも行ってきた
まちの情報を発信する機能を引き継ぎます。
本施設では国家戦略特区道路占用事業制度の認定に向けた実証実験を行っています。



Shibuya info βox
まちの未来像を伝えるカフェを渋谷川沿いの工事中の敷地に、期間限定でオープン。
2016年11月-2017年6月



SHIBUYA FUTURE VISION
渋谷ヒカリエで、未来の渋谷駅周辺を表現した1/500スケールの大型模型を展示。

12 事業計画策定

長い工事期間中で節目をつくり、渋谷の一体感を育む！

まちの節目を、まちぐるみで盛り上げる。

渋谷駅周辺の工事は15年以上と長期に及ぶため、まちの成長を発信する節目づくりとして、行政・事業者・地元住民が連携し、まちが一体となる取り組みを行っています。"つながり"と連携による相乗効果、季節イベントを絡め、「まちぐるみ」「ロングスパン」で推進。2027年に向けて、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ期と段階的・連続的に仕掛けます。

まちびらきロゴ
様々な商店会や団体が参加するまちびらき。渋谷の道路のように、つながりながら全方位に広がっていく様子を「渋」のタイポグラフィーで表現。

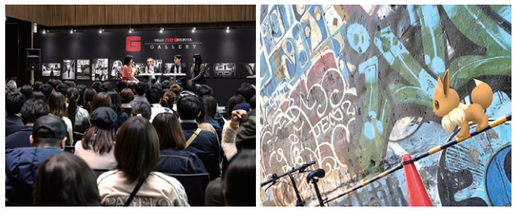
第Ⅰ期まちびらき／2019年9月

SHIBUYA River FES　渋谷ストリーム＆渋谷川の盛り上げ



第Ⅱ期まちびらき／2019年11月-12月

HELLO neo SHIBUYA　南側＆東側＆公園通りなど「まちぐるみ」の取り組みへ



第Ⅲ期まちびらきは、2023年度予定です。

渋谷駅中心地区のまちづくりと渋谷駅前エリアマネジメントの歩み

渋谷駅中心地区まちづくりの動き

-2010

- 2005年12月
  渋谷駅周辺地域（139ha）が、都市再生特別措置法に基づく都市再生緊急整備地域の指定を受ける
- 2006年7月
  渋谷駅周辺地域の整備に関する調整協議会発足
- 2007年9月
  渋谷駅中心地区まちづくりガイドライン2007公表
- 2009年6月
  渋谷駅街区土地区画整理事業の都市計画決定

2011

- 1月
  渋谷駅中心地区デザイン会議発足
- 3月
  渋谷駅中心地区まちづくり指針2010公表
- 5月
  渋谷駅中心地区まちづくり調整会議発足
- 8月
  渋谷駅中心地区大規模建築物等に係る特定区域景観形成指針認定

2012

- 1月
  特定都市再生緊急整備地域の指定
- 4月
  渋谷ヒカリエ開業
- 10月
  渋谷駅中心地区基盤整備方針公表

2013

- 3月
  東急東横線の渋谷～代官山間が地下化、東京メトロ副都心線との相互直通運転を開始
- 6月
  同年1月に提案した都市計画の決定

2014

2015

- 10月
  “かもづくり”フューチャーセッション開催

2016

- 3月
  渋谷駅周辺まちづくりビジョン公表

2017

2018

- 9月
  渋谷ストリーム開業
  渋谷川の再整備
- 9月
  第Ⅰ期まちびらき「Shibuya River Fes」実施
- 11月
  都市再生整備計画
  渋谷駅周辺地区公表

2019

- 3月
  渋谷駅東口歩道橋供用開始
- 11月～20年3月
  第Ⅱ期まちびらき「HELLO neo SHIBUYA」実施
- 11月
  渋谷スクランブルスクエア第Ⅰ期（東棟）開業
  渋谷駅東口地下広場供用開始
  渋谷駅地下出入口番号の変更
- 12月
  渋谷フクラス開業

2020

- 1月
  東京メトロ銀座線ホーム移設
- 6月
  JR埼京線・山手線ホーム並立化
- 7月
  渋谷駅西口歩道橋供用開始
- 9月
  しぶにしデッキ、道玄坂仮設・本設デッキ供用開始

2021-2026

- 21年度予定
  （仮称）ヒカリエデッキ供用開始
- 23年度予定
  渋谷駅桜丘口地区竣工
- 23年度予定
  第Ⅲ期まちびらき

2027-

- 27年度竣工予定
  渋谷スクランブルスクエア第Ⅱ期（中央棟・西棟）

渋谷駅中心地区のまちづくり体制図

- 渋谷駅中心地区まちづくり調整会議（事務局：渋谷区）
  - まちづくり調整部会（事務局：渋谷区）
  - 都市基盤施設デザイン調整部会（事務局：渋谷区）
- 連携
- 渋谷駅中心地区デザイン会議（事務局：渋谷区）
- 連携
- 渋谷駅周辺地域の整備に関する調整協議会（事務局：渋谷区）
  - 防災・にぎわいなど広場分科会
- 報告
- 渋谷駅前エリアマネジメント協議会（事務局：東急、東急不動産、UR都市機構）
- 連携
- 一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメント（事務局：東急、東急不動産、UR都市機構）

渋谷駅前エリアマネジメントの活動実績

フェーズ0：上位方針の形成

ルール作り

渋谷駅中心地区まちづくり調整会議を中心に、まちづくり指針2010戦略7を担うエリアマネジメントの計画に関して官民で協議

屋外広告物・公共空間活用

情報発信・コミュニケーションデザイン

フェーズ1：活動の基盤づくり

ルール作り

- 1月
  渋谷駅前エリアマネジメント準備会発足
- 5月
  渋谷駅前エリアマネジメント協議会設立（5/30）
- 駐車場運用、防災・防犯、AEMS、環境対策、施設の管理、広場の利用、屋外広告物地域ルール、デザイン基盤調整等に関する検討を開始

屋外広告物・公共空間活用

- 渋谷駅前清掃活動に参加開始

情報発信・コミュニケーションデザイン

- 公式ホームページ開設
- 「未来の渋谷はどうる？」リーフレット発行
- 渋谷ヒカリエデッキや工事仮囲いで賑わい装飾「SHIBUYA VIVID」を実施
- 渋谷ヒカリエにインフォメーションコーナー「SHIBUYA FUTURE VISION」を設置し、渋谷駅周辺都市模型の展示開始
- 桑沢デザイン研究所の学生と工事仮囲い装飾「シブレンジャー」を実施
- 工事中のタワークレーンを活用したイルミネーション「SHIBUYA VIVIDS SNOW ILLUMINATION」を実施
- ワークショップコレクション親子工事現場見学ツアー「未来のシブヤ発見ツアー」、道玄坂一丁目駅前地区仮囲い装飾「シブヤミライ人」を実施

フェーズ2：社会実験の実施

ルール作り

- 3月
  「SHIBUYA +FUN PROJECT」始動
- 8月
  一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメント設立（8/18）
- 7月
  全国エリアマネジメントネットワーク参画
- 渋谷駅中心地区サインあり方検討会発足
- 屋外広告物地域ルール策定
- 渋谷駅前サインガイドライン策定委員会発足

屋外広告物・公共空間活用

- ハチ公広場、工事仮囲い等にエリアマネジメント広告を掲出し、収益をまちづくり活動（道路の清掃レベルアップや賑わい創出等）に充当する社会実験を開始
- まちの付加価値投資会議を開催し、官民で公共空間の活用案を検討（16年、17年）
- カメラを活用したゴミ多発地点の見える化実験
- 国道246東口地下歩道での清掃実験（17年、19年）
- 渋谷中央街での道路空間の実験的活用（17、18年）

情報発信・コミュニケーションデザイン

- ARを活用した渋谷のまちの将来像の発信開始
- 渋谷川沿いにて、カフェ型情報発信施設「Shibuya info βox Supported by ZOJIRUSHI My Bottle どこでもcafe」開設
- 工事事業者と連携し、工事中の案内誘導マップ・サインを掲出開始
- 東京都立大学との共同研究として、工事仮囲いの装飾デザイン制作及び掲出開始
- 帰宅困難者対策協議会と連携した防災啓蒙活動実施（16年、17年）
- CSデザイン賞受賞作品の工事仮囲いへの掲出（16年、18年）
- 「YOU MAKE SHIBUYA」年末カウントダウン実行委員会に参画開始
- 渋谷駅前エリアマネジメントコンセプトブック発行
- VRを活用した駅前将来計画紹介動画の制作
- 渋谷アローブロジェクトへの協力開始

フェーズ3:施設の開業と渋谷の魅力づくり

ルール作り

- 5月
  渋谷区初の都市再生推進法人に指定
- 9月
  全国エリアマネジメントシンポジウム@Shibuya
- 10月
  都市再生整備計画渋谷駅周辺地区を渋谷区に提案
- 6月
  渋谷駅前エリアマネジメント協議会に渋谷マークシティ参画
- 渋谷駅前サインガイドライン運営委員会発足
- デザインガイドラインに沿ったサイン整備開始
- 帰宅困難者対応に関する運用ルール策定
- 駐車場一体運用開始
- 大規模複合施設のエネルギーデータ収集開始
- 渋谷駅結節広場案内シンボルマーク公表
- 「駅、まちをつなぐ“渋谷サイン”プロジェクト」が日本サインデザイン賞経済産業大臣賞受賞

屋外広告物・公共空間活用

- 「YOU MAKE SHIBUYA」年末カウントダウンでのプロジェクションマッピング実験
- 東口地下広場清掃実験開始
- 落書き、ステッカー対策実験（19年、20年）
- 渋谷スクランブルスクエアサイネージ実証実験（19年、20年）
- 東口地下広場にてアップライトカフェ、パウダールームを備えた渋谷区立渋谷駅東口公衆便所、コインロッカー、都バス定期券発売所の運用を開始、都市利便増進協定に基づき収益を広場の管理に充当
- 渋谷スクランブルスクエアサイネージ本格運用開始
- 道玄坂仮設・本設デッキにおけるホログラム広告掲出開始

情報発信・コミュニケーションデザイン

- 工事事業者と連携し、バーチャルインフォボックスをホームページに開設
- フリーWi-Fi「SHIBUYA Wi-Wi-Fi」サービス開始
- ワークショップ「渋谷の街をレゴ®ブロックでつくろう！」実施（18年、19年）
- 「SHIBUYA WINTER ILLUMINATION」への協力開始
- エリアマネジメント活動（SHIBUYA +FUN PROJECT）紹介動画公表
- 渋谷スクランブルスクエアサイネージを活用した、「Motion Plus Design Shibuya Video Contest 2019」開催
- 「渋谷中央街Music Street」に協力
- ・渋谷駅ハチ公広場観光案内所「SHIBU HACHI BOX」開設
- 渋谷区観光協会と連携し、しぶにしデッキ壁面にアート作品展示開始

あたらしい景色を
ソウゾウしよう。

MESSAGE to SHIBUYA !

渋谷を訪れた人や渋谷に関わる人から、「渋谷に期待すること」
「渋谷で実現したいこと」を集めました。
こんな時代だからこそ、まちを元気にする活動を続けたい。
訪れてよかったと思えるようなまちづくりをしていきたい。
いただいた意見を参考に、もっとワクワクドキドキできる
渋谷の魅力をみなさんと一緒につくっていきます。